



2018年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年1月30日

上場会社名 アルパイン株式会社

上場取引所 東

コード番号 6816 URL <http://www.alpine.com/j/investor/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米谷 信彦

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理担当 (氏名) 梶原 仁

TEL 03-5499-8111

四半期報告書提出予定日 2018年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第3四半期の連結業績(2017年4月1日～2017年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第3四半期	197,512	8.9	9,272	100.4	9,023	28.1	5,747	27.9
2017年3月期第3四半期	181,390	11.7	4,627	7.2	7,045	45.3	7,967	28.6

(注) 包括利益 2018年3月期第3四半期 11,443百万円 (285.6%) 2017年3月期第3四半期 2,967百万円 (68.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第3四半期	83.37	83.28
2017年3月期第3四半期	115.57	115.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期第3四半期	217,318	154,844	70.2	2,212.22
2017年3月期	201,857	145,328	71.1	2,080.94

(参考) 自己資本 2018年3月期第3四半期 152,535百万円 2017年3月期 143,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期		15.00		15.00	30.00
2018年3月期		15.00			
2018年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日～2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	9.0	11,000	96.0	10,200	37.1	6,000	22.7	87.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年3月期3Q	69,784,501 株	2017年3月期	69,784,501 株
期末自己株式数	2018年3月期3Q	832,135 株	2017年3月期	847,284 株
期中平均株式数(四半期累計)	2018年3月期3Q	68,948,272 株	2017年3月期3Q	68,936,593 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

2018年1月30日(火)に当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は緩やかな回復基調で推移し、米国や欧州も緩やかな景気拡大が続きました。一方で、米国新政権による政策動向や極東地域における地政学リスクの上昇等から世界経済は先行き不透明な状況で推移しました。

カーエレクトロニクス業界では、自動車の電子化が加速するなか、インフォテインメントシステムを核とした車載情報分野と自動運転やAI（人工知能）など新分野との連携が拡大し、業種・業態を超えた企業間競争が激化しています。

このような状況下、当社グループは今年度を2020年度に向けて策定した企業ビジョン『VISION2020』達成のための構造改革仕上げの年と位置付け、2017年度を初年度とする「第14次中期経営計画」を策定しました。この計画に基づき、国内技術開発子会社を吸収合併し技術開発力を強化するとともに、ソフトウェアの性能や品質が製品の競争力を左右する重要な要素となることから、株式会社シーズ・ラボとの資本及び業務提携の強化を図り、子会社化しました。また、コニカミノルタ株式会社が開発した3D AR（拡張現実）技術を活用したHUD（ヘッドアップディスプレイ）の量産化を目指し、同社との共同開発をスタートさせました。更に、期初に統合した国内製造子会社3社の生産性向上を図るなど、グループ再編による構造改革を推進し、より強固な事業基盤の構築に努めました。ビジネス面では、ユーザーが求める快適なカーライフ実現に向け、新規ビジネスとして『アルパインスタイル カスタマイズカー』の販売を開始しました。これら諸施策に加え、国内市販市場向けアルパインブランドの車種専用製品や中国市場における欧州自動車メーカー向け純正品の売上が伸長するなか、為替が円安で推移したことから売上高が増加しました。また、営業利益も、増収効果に加え、研究開発費の効率化を図るなど固定費を削減したことにより増加しました。

この結果、当第3四半期累計期間（2017年4月～12月）の業績は、連結売上高1,975億円（前年同期比8.9%増）、営業利益92億円（前年同期比100.4%増）、経常利益90億円（前年同期比28.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益57億円（前年同期比27.9%減）となりました。

各セグメントの業績は、下記のとおりです。また、売上高は外部顧客への売上高です。

なお、当社はグループとしてのシナジーを加速させるため、アルプス電気株式会社との経営統合計画を発表しました。自動車産業の新たなトレンドである自動運転、EV（電気自動車）、コネクティッド、シェアリングに対応するため、アルプス電気株式会社が有するセンシングデバイスや通信デバイス技術と当社のソフトウェア技術を融合し、ドライバー・同乗者に感動の移動空間・時間の提供を目指して、最適なHMI（ヒューマンマシンインタフェース）の開発に取り組んでいきます。

《音響機器事業》

当事業部門では、市販市場向け、自動車メーカー向け純正品とともに、オーディオ機能とナビゲーションやディスプレイ製品などの情報・通信機器が融合し、オーディオ市場の減少傾向が続いています。一方、アナログ音源復活の兆しとともに音質に注目が集まるなか、市販市場での売上拡大を目指し、国内のオーディオ・ビジュアル機器専門の展示会「TOTEN -AUDIO・VISUAL FESTIVAL2017-」にサウンドシステムを搭載したデモカーを出展するなど、積極的なプロモーションを展開しました。

また、自動車メーカー向け純正品については、静寂性に優れた高級車向けに臨場感のある高音質を訴求したスピーカーやアンプに加え、自動車の燃費や環境に配慮した薄型・軽量スピーカーや、車室内デザインの変化に対応するため設置場所の自由度を向上させた軽量・小型の『レイアウトフリースピーカー』の受注拡大を図りました。

以上の結果、当事業部門の売上高は393億円（前年同期比21.0%増）となりました。

《情報・通信機器事業》

当事業部門では、国内市販市場に投入した大画面ナビゲーション『Big-Xシリーズ』の販売が好調に推移するなか、「第45回東京モーターショー2017」に出展し、新規ユーザーの獲得を目指すとともにアルパインブランドの強化を図りました。また、ナビゲーションを核としたシステム製品を搭載し、高品質な車室内インテリアを実現した『アルパインスタイル カスタマイズカー』の受注活動にも注力しました。更に、欧米市販市場向けに車種専用の新製品を投入したことから、売上高は堅調に推移しました。

自動車メーカー向け純正品については、高級車を中心に標準装備となりつつあるディスプレイ製品が、受注の端境期の影響を受け一部の自動車メーカー向けに減少しましたが、中国において欧州高級自動車メーカー向けナビゲーションの販売が好調に推移したことから、売上高は増加しました。

以上の結果、当事業部門の売上高は1,581億円（前年同期比6.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産については、受取手形及び売掛金の増加19億円、たな卸資産の増加47億円、その他流動資産の増加48億円、有形固定資産の増加13億円、投資有価証券の増加28億円等により、前連結会計年度末比154億円増加の2,173億円となりました。

負債については、支払手形及び買掛金の増加31億円、未払費用の増加14億円、繰延税金負債(長期)の増加2億円、退職給付に係る負債の増加10億円等により、前連結会計年度末比59億円増加の624億円となりました。

純資産については、利益剰余金の増加36億円、その他有価証券評価差額金の増加13億円、為替換算調整勘定の増加39億円、非支配株主持分の増加4億円等により、前連結会計年度末比95億円増加の1,548億円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.9ポイント減少の70.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、本日(2018年1月30日)公表しました「2018年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、第4四半期の為替レートは、1米ドル=108円、1ユーロ=127円を前提としています。

(2018年3月期の通期連結業績予想)

売上高	2,700億円 (前期比 9.0%増)
営業利益	110億円 (前期比 96.0%増)
経常利益	102億円 (前期比 37.1%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	60億円 (前期比 22.7%減)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	53,309	53,123
受取手形及び売掛金	39,429	41,351
商品及び製品	18,310	19,533
仕掛品	737	1,111
原材料及び貯蔵品	6,591	9,773
繰延税金資産	1,197	1,537
その他	8,894	13,699
貸倒引当金	△139	△223
流動資産合計	128,330	139,907
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,360	27,261
減価償却累計額	△18,378	△19,179
建物及び構築物 (純額)	7,981	8,082
機械装置及び運搬具	23,937	25,345
減価償却累計額	△17,939	△19,106
機械装置及び運搬具 (純額)	5,997	6,238
工具器具備品及び金型	52,271	54,348
減価償却累計額	△46,592	△48,546
工具器具備品及び金型 (純額)	5,679	5,801
土地	4,863	4,907
リース資産	199	230
減価償却累計額	△86	△95
リース資産 (純額)	112	134
建設仮勘定	1,459	2,322
有形固定資産合計	26,095	27,487
無形固定資産		
投資その他の資産	4,457	5,002
投資有価証券	25,199	28,041
出資金	13,881	12,305
退職給付に係る資産	60	45
繰延税金資産	679	641
その他	3,158	3,893
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	42,974	44,921
固定資産合計	73,527	77,411
資産合計	201,857	217,318

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,079	27,199
未払費用	9,033	10,503
未払法人税等	944	985
繰延税金負債	0	132
賞与引当金	2,211	1,503
役員賞与引当金	55	54
製品保証引当金	4,841	5,622
その他	5,538	5,503
流動負債合計	46,705	51,506
固定負債		
繰延税金負債	4,548	4,784
退職給付に係る負債	3,410	4,443
役員退職慰労引当金	70	52
その他	1,794	1,687
固定負債合計	9,823	10,968
負債合計	56,529	62,474
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,920	25,920
資本剰余金	24,903	24,903
利益剰余金	87,758	91,432
自己株式	△1,401	△1,376
株主資本合計	137,180	140,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,338	8,704
繰延ヘッジ損益	△0	△4
土地再評価差額金	△1,261	△1,261
為替換算調整勘定	1,908	5,816
退職給付に係る調整累計額	△1,713	△1,599
その他の包括利益累計額合計	6,272	11,655
新株予約権	83	97
非支配株主持分	1,791	2,211
純資産合計	145,328	154,844
負債純資産合計	201,857	217,318

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
売上高	181,390	197,512
売上原価	150,209	158,043
売上総利益	31,181	39,469
販売費及び一般管理費	26,553	30,197
営業利益	4,627	9,272
営業外収益		
受取利息	120	210
受取配当金	288	309
為替差益	—	546
持分法による投資利益	2,127	—
金型精算益	30	384
その他	278	296
営業外収益合計	2,845	1,747
営業外費用		
支払利息	11	35
為替差損	15	—
売上割引	74	75
支払手数料	49	666
海外源泉税	179	269
持分法による投資損失	—	905
その他	96	43
営業外費用合計	427	1,996
経常利益	7,045	9,023
特別利益		
固定資産売却益	49	53
段階取得に係る差益	—	42
投資有価証券売却益	127	—
関係会社株式売却益	6,268	—
その他	6	3
特別利益合計	6,451	100
特別損失		
固定資産除売却損	26	65
事業構造改善費用	—	1,254
特別損失合計	26	1,319
税金等調整前四半期純利益	13,470	7,804
法人税、住民税及び事業税	4,960	2,376
法人税等調整額	379	△580
法人税等合計	5,340	1,796
四半期純利益	8,130	6,007
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,967	5,747
非支配株主に帰属する四半期純利益	163	259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	880	1,748
繰延ヘッジ損益	1	△3
為替換算調整勘定	△170	3,758
退職給付に係る調整額	72	114
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,947	△182
その他の包括利益合計	△5,163	5,435
四半期包括利益	2,967	11,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,766	11,131
非支配株主に係る四半期包括利益	201	311

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

① 前第3四半期連結累計期間(自2016年4月1日 至2016年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	音響機器事業	情報・通信 機器事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	32,505	148,885	181,390	—	181,390
セグメント間の内部売上高又は振替高	552	122	675	△675	—
計	33,057	149,007	182,065	△675	181,390
セグメント利益(営業利益)	1,394	6,979	8,373	△3,746	4,627

(注) セグメント利益調整額△3,746百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用の主なものは、セグメントに帰属しない当社の管理部門及び開発部門の一部に係る費用です。

② 当第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 財務諸表 計上額
	音響機器事業	情報・通信 機器事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	39,336	158,176	197,512	—	197,512
セグメント間の内部売上高又は振替高	562	137	700	△700	—
計	39,899	158,313	198,213	△700	197,512
セグメント利益(営業利益)	1,929	11,919	13,848	△4,576	9,272

(注) セグメント利益調整額△4,576百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用の主なものは、セグメントに帰属しない当社の管理部門及び開発部門の一部に係る費用です。